



せせらぎ

第10号

R2.2.25

教育目標 **であう ふれあう まなびあう**
校訓 **心ゆたかに 健やかに**

校長 山下 司

新型コロナウイルスが報道され始めた1月中旬に、本校ではインフルエンザが流行し、一クラスが学級閉鎖になりました。その後の流行を心配しましたが、蔓延することもなく今は小康状態です。しかし、現在はその新型コロナウイルスによる感染拡大が大変心配されます。感染経路が不明な方もおられるようで不安感は増すばかりです。手洗いやマスク着用の積極的予防策を引き続きとっていきたいと思います。ご家庭でもよろしくお願ひします。

伝統ある「鼓笛」引継式

鼓笛の引き継ぎ式が1月28日(火)にありました。6年生の鼓笛演奏からスタートしましたが、久々に聞く鼓笛の音は体育館いっぱいに響き渡り堂々としていて力強さを感じました。6年生の一体感あるパフォーマンスも見事で、全体の美しさに5年生も職員も魅了されました。その後、6年生を代表して主指揮者の松永凜さんが、「聴く人の心に響く演奏をしようとして一生懸命練習してきました。自分の楽器に責任が持てるようしっかり練習を重ね、心を一つにして演奏してください。」と思いを伝えると、5年生を代表して主指揮を引き継ぐ堀田結愛さんが、「6年生の迫力のあるまとまった鼓笛が心に響きました。みんなに感動を与えることができる鼓笛を目指して一致団結して頑張ります。」と力強く応えました。

現在各楽器、パートに分かれて引き継ぎの真っ最中です。昼休みの時間を活用してほぼ毎日、6年生が5年生にマンツーマンでの伝授をしています。5年生もそれに応えようと時間を見付けて自主練習に取り組んでいます。そして、5年生の技を結集させて6年生に初披露する日が卒業式の日になります。6年生が安心できる鼓笛演奏ができることを願っています。



感謝の気持ちで招待給食



毎日給食センターからおいしい給食を提供してもらっています。完食する児童が多く、おかわりも多くしますので残菜もほとんどありません。そこで、感謝する気持ちを伝えようと、センターの調理師さんを招待して給食をいただく招待給食を開催しました。調理師さんたちも、子どもたちがどのような雰囲気の中で給食を食べているのか、食べる速さや時間、分量など実感していただけたものと思います。調理師さんの思いをしっかりと胸に抱いて、これからも給食に感謝しながら、おいしく楽しくいただきたいと思います。

タグラグビー教室

9月から開催された『ラグビーワールドカップ(W杯)』日本大会は予想以上に盛り上がり、ラグビー人気に一気に火が付いたところですが、しかし、実際にラグビーを経験している児童は皆無に等しく、ルールがわからなかったり選手をほとんど知らなかったりの、“にわかファン”が多い状況です。そこで、ラグビーのおもしろさを体感したいとの思いで、九州電力武雄営業所 石橋所長様をはじめ、現役ラグーマンを含めて11名の方に来校していただき、タグラグビー教室を開催しました。プレイヤーは腰にベルトをまき、その左右に1枚ずつタグを着けます。攻める側は、ボールを持って走ったり、後方者にパスをしながら前進し、ゴールラインを目指します。守る側は、相手プレイヤーのタグをとることによって相手のゴールライン突破を防ぎます。タックルをはじめとする身体の接触プレーを一切排除しているため、誰でも安全に楽しむことができるゲームで、子どもたちはすぐにゲームの虜になりました。今回、教具セットを何セットもいただきましたので、学校全体に広がって体力作りにつながればと考えているところです。



「いのちの理由」人権同和教育研

市社会教育指導員の岩橋和子先生を講師に迎えて、育友会人権同和教育研修会を持ちました。最初に歌手、さだまさしさんの「いのちの理由」の歌を紹介されました。「私が生まれてきた訳は父と母とに出会うため 私が生まれてきた訳はきょうだいたちに出会うため 私が生まれてきた訳は友達みんなに出会うため 私が生まれてきた訳は愛しいあなたに出会うため」ではじまる歌です。この全歌詞を聴いて、改めて「わたし」は大事にされなければならない存在であり、だれでも生まれながらにして持っている「人権」は、誰からも決して犯されたりしてはいけないもの、だから「いじめ」は決して許されないことであることを繰り返し指導していくことの必要性を痛感しました。ご家庭でも、是非、共有できる場をお願いします。